



## 泌尿器科専門研修プログラムについて

石井 伯昂 泌尿器科 助手

2020年3月 弘前大学卒

泌尿器科専門研修プログラム 2022年度開始



私は初期研修の大学病院Cプログラムにて泌尿器科で半年間研修し、泌尿器科専門研修として1年間市中病院に勤務しました。そして、4月より大学病院で研修を行なっています。当プログラムでは、大学病院を含めた基幹・関連病院を半年から1年毎にローテーションしています。泌尿器科領域は広範囲であり、施設ごとに扱う疾患や手術が異なるため、様々な病院での診療経験を通じて幅広い泌尿器科の研修を受けることができます。大学病院は1年振りで、初めて経験する手術や病態が複雑な症例も多いですが、カンファレンスなど通じて指導体制は充実しており、日々やりがいを感じています。

さて、泌尿器科の特徴ですが、開腹手術や腹腔鏡手術・腎移植といった外科手術から、排尿障害・腎不全などの内科的側面まで幅広く診ることができます。特に癌治療では、診断から治療まで自科で完結させることができ、私が入局を決めた理由の一つでもあります。また、当科では研究にも力を入れており、毎年国際学会に参加しています。私自身も今年シカゴで開催された学会で発表させていただく機会をいただきました。そして、仕事だけではなく、プライベートの時間も十分確保できるのも当科のメリットの一つだと思います。

自分の専攻を決めるのはとても大変なことと思いますが、興味を持っていただいた方は気軽に講座にお話を聞きに来てください。お待ちしております。



ロボット支援手術の様子